



平成 27 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 石光商事株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 森本 茂  
 (JASDAQ・コード2750)  
 問合せ先 常務取締役執行役員管理部門長 山根 清文  
 (電話番号 078-861-7791)

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異および  
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日) の業績について、平成 27 年 5 月 13 日に公表いたしました予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて、業績予想について、修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## I. 第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

## 1. 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	17,783	52	16	9	1円19銭
今回実績(B)	19,523	31	149	147	19円08銭
増減額(B-A)	1,740	△20	133	137	—
増 減 率	9.8%	△39.4%	814.9%	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	17,298	△306	△316	△211	△27円50銭

## 2. 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	17,572	35	23	3円08銭
今回実績(B)	19,392	36	26	3円38銭
増減額(B-A)	1,819	1	2	—
増 減 率	10.4%	3.0%	9.6%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	17,089	△329	△220	△28円65銭

### 3. 差異の理由

#### (1) 連結

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、主として「(2) 個別」の修正の理由によるものであります。利益面につきましては、当社の事業に関し原価の上昇や経費の増加がありました。一方、持分法適用会社に関し、当社の所有する株式数を若干増やしたことに伴い、その投資利益が反映された結果、経常利益以下が前回予想値を大幅に上回ったものであります。

#### (2) 個別

当第2四半期個別累計期間の売上高につきましては、プレミアムコーヒーやコーヒーバッグ、食品関連で懸命に拡販に努めたこと、また原価の上昇を製品価格に転嫁したことが功を奏し、前回発表予想を上回ったものであります。

## II. 平成28年3月期通期業績予想の修正について

### 1. 平成28年3月期通期業績予想値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

#### (1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,670	301	236	137	17円77銭
今回修正予想(B)	38,781	239	321	249	32円42銭
増減額(B-A)	2,111	△62	85	112	—
増減率	5.8%	△20.7%	36.0%	82.4%	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	35,882	△164	△139	△151	△19円71銭

#### (2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,233	179	121	15円82銭
今回修正予想(B)	38,429	150	71	9円26銭
増減額(B-A)	2,196	△29	△50	—
増減率	6.1%	△16.4%	△41.5%	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	35,495	△182	△164	△21円29銭

### 2. 修正の理由

#### (1) 連結

当第2四半期連結累計期間までの実績および足もとの事業環境を踏まえ、「(2) 個別」の修正の理由に記した拡販努力の成果と値上げ浸透、そして経費増加の圧迫に伴い、売上高の予想を上方に、営業利益の予想を下方に修正するものであります。更に当第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異の主たる理由である持分法適用会社に係る投資利益に伴い、経常利益以下を上方修正するものであります。

(2) 個別

当第2四半期個別累計期間までの実績を踏まえ、拡販努力の成果や値上げが浸透されてきたことにより、売上高を上方修正するものであります。また平成28年3月期下半期は、当第2四半期個別累計期間の実績に比べ増益を見込んでおりますが、しかしながら送料等の経費増加に圧迫され、通期としましては経常利益以下の予想を下方修正するものであります。

以上